

研究課題番号	5RF-2004
研究課題名	燃焼における官能基を有した多環芳香族炭化水素の生成機構解明とモデル構築
研究実施期間	令和2年度～令和3年度
研究機関名	産業技術総合研究所
研究代表者名	鈴木 俊介

1. 委員の指摘及び提言概要

燃焼に伴う多環芳香族炭化水素 (PAHs) の生成メカニズムに関する基礎研究が充実して行われており、研究目標に沿った研究成果が得られている。例えば、燃焼における OPAHs の生成過程についてのモデルシミュレーションと実測結果との比較を行い、ある程度の一致が見られている。これらの研究成果や得られた知見は環境行政にただちに貢献するものではないが、学術研究としての意義は高いと思われる。生成過程とモデル化の成果を発展させて、OPAHS の生成を減少させるような燃焼法・燃料構成の提案につながる研究、PAHs の生成抑制法および生成プロセスの活用研究など、今後は実環境を意識した反応系の解析研究も目指していただきたい。

2. 採点結果

評価ランク：A